

I 硬筆指導の初めの指導

- 正しい姿勢・持ち方（親指・人差し指・中指の三作用）に気を付けて書く。
- 字形や画の方向に気を付けて書く。
- 用紙のマスの中に、大きさを考えて書く。

〔ねらい〕

- 字形を意識させ、正しい筆順で丁寧に書く。
- とめ、はね、はらいに気をつけて書く。
- 文字の中心に気をつけて書く。

〔指導のポイント〕

「ほ」…一筆目の丸み。二筆目への筆脈。一筆から二筆目の筆脈。二筆目と三筆目の長さ。四筆目の結びの形。

「し」…縦長になるよう、縦線部分はしっかり長く。文字の中心部分まで、はらいの先がくるように。「し」の真ん中に卵が入るようなイメージで丸く書きます。

「ぞ」…一筆で書く。書き出しの横画の終わりから、左斜め下に向かって長く戻ります。このとき、始筆（書き始め）よりも左まで出すと、字のバランスが良くなります。（折り返し）：書き出しと並行になるように右へ進み、カドをしっかり意識して折り返します。最後は大きな卵を抱えるようなイメージで、ゆったりと丸みをもたせて曲線を描きます。（濁点）一筆目よりも高い位置に、二つの点を斜めに並べて打ちます。。

「ら」…一筆目は、中心線のやや上から短く打ち込みます。二筆目への「筆脈（見えない線のつながり）」を意識して空中で鉛筆を動かし、二筆目に入ります。二筆目は軽く右上に上がり、中心を通ってから大きく丸みをつけて、左下へゆったりとはらいます。

「あ」…二筆目は中心から中心へ。3つの隙間の大きさの違いを意識しながら、大きく曲がります。

「ま」…二画目と三画長さ・結び方（2回止まる）

「の」…始筆は中心線から。概形は、円をイメージして書く。最後は右斜め上の方向にはらいます。

「が」…一筆目・二筆目は、やや平行に。一筆目は右上がり、ゆるやかに曲がります。はねは、始筆の位置を目標にはねる。三筆目は、長さを意識させます。濁点は、三筆目と平行に

「わ」…一筆目は、少し丸みを持たせて下ろします。一筆目の上部から、左斜め下に向かって下ろします。（折り返し）：斜めに下ろした線をそのまま戻るようにして、一筆目の縦画と交差するまで右上へ運びます。交差した後は、右側に大きな「円」を描くように丸く膨らませます。最後は中心線に向かって、ゆっくりと力を抜きながらはらいます。

